科目名	電子情報創造工学実験実習Ⅱ Practice of Elementary Creation II			担当教員	漆原 史朗，雛元 洋一，山本 雅史		
学年	２年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	２
分野	専門	授業形式	実験実習	科目番号	16132008	単位区分	履修単位

学習目標	グループで行う実験に積極的に参加し，互いに協調することで適切な解決策を引き出すことができる。また，実験を通じて，電気電子工学の基礎となる諸原理の理解を深め，基本的な測定機器の取扱い方法を身につけることを目的とする。さらに，実験項目ごとにレポートを作成し，技術報告書の書き方を習得する。レポートは期限どおりに提出できる。
進め方	各実験テーマについては、3 週にわたり実験とレポート作成を行う。各実験テーマにおいて指導教員から説明を受け，自主的に実験を行う。実験が終わればその結果をレポートにまとめて期日までに提出する。

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	［前期］ １．ガイダンス(1) ２．有効数字やレポートの書き方など(1) ３．コンデンサ，抵抗の読み方と測定(2) ４．アナログ電流計と電圧計の使い方(4) ５．直流安定化電源の使い方(2) ６．グラフの書き方(2) ７．デジタルオシロスコープ(10) ８．電圧計と電流計による抵抗測定(6) ９．筆記試験・実技試験 (2)	a. 各実験項目の目的・内容等を理解し，説明することができる。(B-3) b. 教員の指導のもと，基礎的なレポートを作成することができる。(D-1) c. レポートを定められた期日までに提出することができる。(C-2) d. 内容等に不備があり再提出が求められたレポートについては，期日までに修正し提出できる。(C-2) e. 実験中，実験への意欲と心構えがあり，チームワークを持って取り組むことができる。(C-2) f. 測定機器の基本的な取扱い方法を理解し，説明することができる。(B-3)
	［後期］ １０．分流器と倍率器(6) １１．直流電源(6) １２．キルヒホフの法則(6) １３．ダイオードとトランジスタ(6) １４．等価電源(6)	

評価方法	・a とｂについて，提出されたレポートが自己点検シートを満足し，有効桁数を考慮した実測データに基づいて分かりやすく作成できているかを観点として，レポートにより評価する。(70%) ・ｃとｄについて，レポートの提出状況により評価し，提出の遅れ分を減点する。 ・ｅについて，準備物や実験中の協調性と取組み態度により適宜評価する（10%）。 ・ｆについて，試験(筆記・実技)により評価する。(20%)
履修要件	特になし
関連科目	電気基礎数学，電子情報創造工学実験実習Ⅰ(1 年) → 電気物理，電気基礎Ⅰ，［電子情報創造工学実験実習Ⅱ](2 年) → 電気基礎Ⅱ，電子工学，電子情報工学実験Ⅰ(3 年) ・座学で学んだ諸法則の理解を深め，これから学ぶ諸原理の観察を行う。
教材	教科書： 実験テキストを配布する。